

報道発表資料の配付日時 6月8日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	札幌市内で回収されたキツネにおける高病原性鳥インフルエンザウイルス遺伝子検査の結果(高病原性確定 今期哺乳類2例目)について												
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者											
		発表場所											
概要	<p>○ 北海道大学が、調査研究の一環として本年2月20日に札幌市内で回収し冷凍保管していたキツネの死亡個体1頭について、6月2日、同大学で遺伝子検査を実施したところ、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、環境省から連絡がありました。</p> <p>○ 環境省によると、キツネの感染は、海外では複数事例、国内では昨年4月及び本年4月に、道内でそれぞれ1事例確認されていますが、回収地点の近くでは、陽性が確認されたカラスの死亡野鳥が複数確認されており、高病原性鳥インフルエンザに感染した鳥の捕食により感染した可能性があり、キツネ同士の感染は確認されていません。また、日常の生活で、感染した動物から人に感染することはないと考えられます。</p> <p>○ なお、環境省では、死亡個体の回収時点では野鳥等における監視の強化を実施していましたが、その後、野鳥の大量死等の異常は確認されなかったため、感染状況把握のための野鳥調査における現在の全国の対応レベルは通常時の「レベル1」から変更ないとしています。</p> <p>〈道の今後の対応〉 引き続き、国及び道の野鳥の高病原性鳥インフルエンザに係る対応マニュアルに基づき、各振興局で野鳥生息場所の監視、死亡野鳥等の検査などを実施します。</p>												
参考	<p>○ 対応レベル等に応じた野鳥調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応レベル等</th> <th>鳥類生息、状況等調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対応レベル1(通常時)</td> <td>情報収集、監視</td> </tr> <tr> <td>対応レベル2(国内単一箇所発生時)</td> <td>監視強化(週1回程度)</td> </tr> <tr> <td>対応レベル3(国内複数箇所発生時)</td> <td>監視強化(週1回程度)</td> </tr> <tr> <td>野鳥監視重点区域</td> <td>状況調査(3日間程度)、監視強化、発生地対応</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。</p>			対応レベル等	鳥類生息、状況等調査	対応レベル1(通常時)	情報収集、監視	対応レベル2(国内単一箇所発生時)	監視強化(週1回程度)	対応レベル3(国内複数箇所発生時)	監視強化(週1回程度)	野鳥監視重点区域	状況調査(3日間程度)、監視強化、発生地対応
対応レベル等	鳥類生息、状況等調査												
対応レベル1(通常時)	情報収集、監視												
対応レベル2(国内単一箇所発生時)	監視強化(週1回程度)												
対応レベル3(国内複数箇所発生時)	監視強化(週1回程度)												
野鳥監視重点区域	状況調査(3日間程度)、監視強化、発生地対応												
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 死亡していたり、衰弱している鳥などの野生動物を見つけても、素手で触らない、触った場合は手洗いするなど、死んだ鳥などの野生動物との接し方について注意喚起をお願いします。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。</p>												
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	環境省、道政記者クラブ											
担当 (連絡先)	環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係(担当者:課長補佐 車田) TEL:011-231-4111(内線24-384)ダイヤルイン:011-204-5205												

令和4年（2022年）シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

< 令和4年（2022年）10月～令和5年（2023年）9月 >

本件	野鳥 ○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	1例目	10/8	根室	別海町	糞便	ガンカモ類				高病原性
	2例目	10/23	オホーツク	紋別市	糞便	ガンカモ類				高病原性
	3例目	10/28	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1			高病原性
	4例目	11/6	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	5例目	11/10	オホーツク	斜里町ウトロ西地区	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	6例目	11/16	オホーツク	網走市	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	7例目	11/16	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	8例目	11/18	十勝	帯広市	死亡野鳥	マガモ	1	陽性	陽性	高病原性
	10例目	11/19	根室	中標津町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	9例目	11/20	釧路	釧路市	衰弱野鳥	タンチョウ	1		陽性	高病原性
	11例目	11/21	渡島	八雲町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	12例目	11/23	十勝	浦幌町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	13例目	11/24	胆振	むかわ町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	14例目	11/26	オホーツク	斜里町ウトロ西地区	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	15例目	11/28	渡島	七飯町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	16例目	12/2	胆振	厚真町	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陰性	陽性	高病原性
	18例目	12/3	渡島	函館市	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陰性	陽性	高病原性
	17例目	12/5	釧路	釧路市	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
	20例目	12/9	オホーツク	網走市	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	21例目	12/10	宗谷	浜頓別町	死亡野鳥	オオワシ	1	陰性	陽性	高病原性
	19例目	12/12	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	22例目	12/12	釧路	標茶町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
	23例目	12/21	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	24例目	12/28	石狩	千歳市	衰弱野鳥	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
	25例目	1/9	後志	積丹町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	26例目	1/13	渡島	函館市	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陽性	陽性	高病原性
	27例目	2/4	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	28例目	3/1	根室	根室市	衰弱野鳥	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
	30例目	3/10	釧路	釧路市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陰性	陽性	高病原性
	29例目	3/13	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
	31例目	3/16	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	32例目	3/22	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	33例目	3/26	空知	赤平市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	34例目	3/30	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	35例目	3/29	日高	えりも町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	36例目	3/30	胆振	むかわ町	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
	37例目	4/4	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	38例目	4/11	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	39例目	4/19	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性

【参考：哺乳類】

本件	哺乳類 ○例目	回収日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	頭数			
	1例目	4/12	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡個体	キツネ	1	陽性	陽性	高病原性
●	2例目	2/20	石狩	札幌市	死亡個体	キツネ	1		陽性	高病原性